

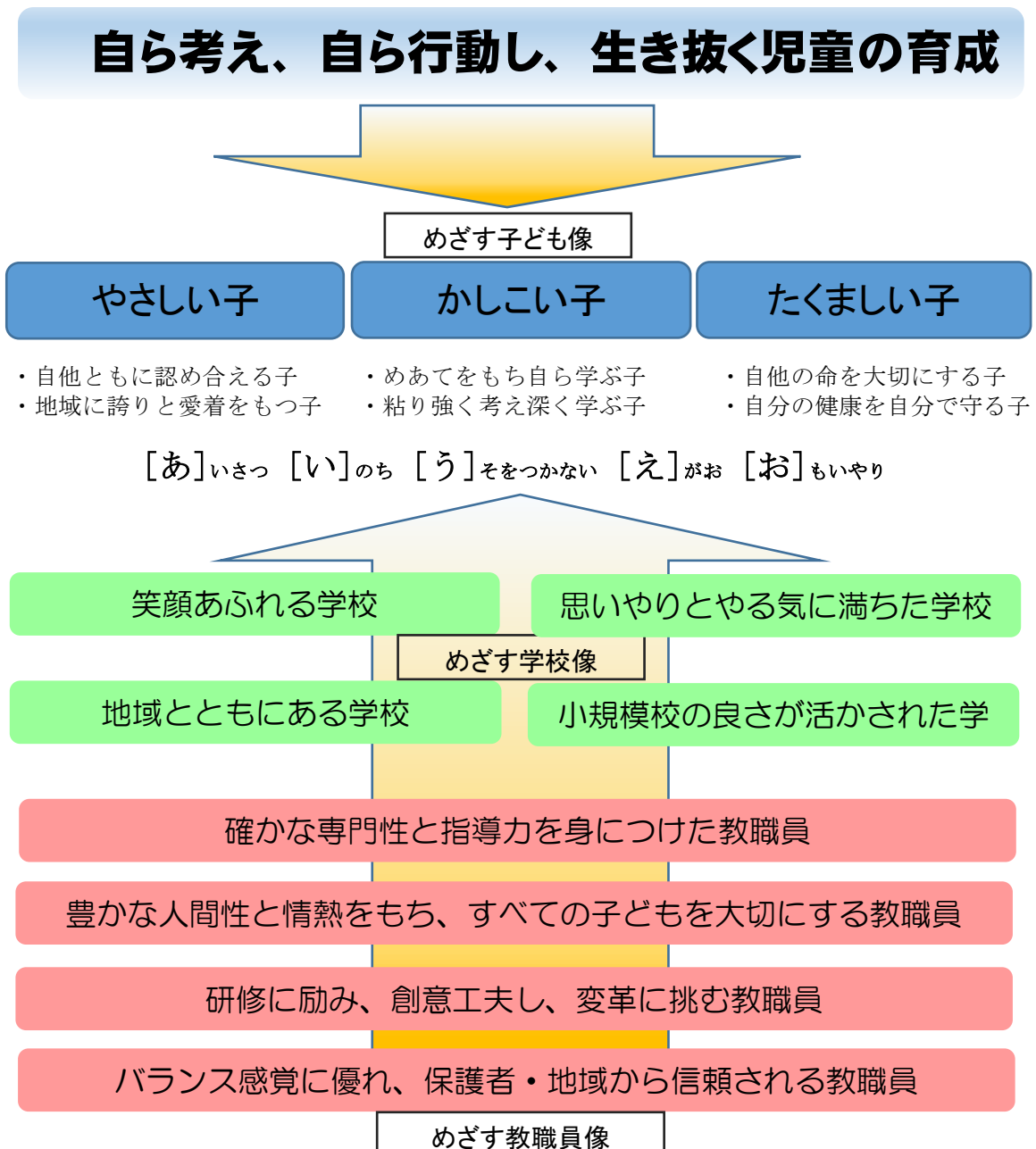
学校経営方針

令和6年4月1日

1. 学校経営の基本理念

- (1) 本校伝統の「五徳づくり」を基本とし、自分たちで考え、行動しようとする児童を育成する営みを、教職員の英知を集め徹底する。
- (2) 「小規模特認校」という利点を最大限に生かし、保護者や地域との強い連携の下、「ここにいるから学べること」「ここにあるから育まれる心」を実現する。
- (3) 「あいうえおおしま」を合い言葉に、自己肯定感にあふれ、誰もが認められる、特色ある学校づくりを推し進める。

2. 学校教育目標



3. めざす児童像(学年別は次年度に)

やさしい子

かしこい子

たくましい子

4. めざす学校像

(1) 笑顔あふれる学校

- ・子どもが安心できる学校
- ・子どもが関心を持って学べる学校

(2) 思いやりとやる気に満ちた学校

- ・いじめを絶対許さない、人権文化にあふれた学校をめざす
- ・一人ひとりを主役にし、自己肯定感を高め、やる気に満ちた学校をめざす
- ・合理的配慮をあらゆる教育活動の基盤に据えた学校をめざす

(3) 地域とともにある学校

- ・子どもを中心に、学校・家庭・地域が連携し、それぞれの教育力を発揮する
- ・地域の歴史や文化を大切にし、大島ならではの教育活動を充実させる
- ・校区の自然を活用し、豊富な体験活動を充実させる

(4) 小規模校の良さが活かされた学校

- ・学校行事等で小回りのきく教育活動を充実させる
- ・必要とする児童に、きめ細やかな支援を継続する
- ・異学年の交流を十分に生かした複式学級

5. めざす教職員像

学校経営方針の下、教職員一人ひとりの良さを発揮し、「チーム大島」を支えることのできる教職員をめざす。

(1) 確かな専門性と指導力を身につけた教職員

- ①子どものやる気を引き出し、意欲を高めることができる
- ②わかる喜びが実感できる「主体的・対話的で深い学び」につながる授業実践ができる

(2) 豊かな人間性と情熱をもち、すべての子どもを大切にする教職員

- ①子どもをよく理解し、多様性を認め、適切に対処・指導できる
- ②子どもへの教育的愛情と責任感、教職に対する使命感と誇りをもっている

(3) 研修に励み、創意工夫し、変革に挑む教職員

- ①豊かな創造力を持ち、新たな課題へ積極的に挑戦する意欲や実行力をもっている
- ②授業研究をいかした校内研修に進んで取り組むことができる

(4) バランス感覚に優れ、保護者・地域から信頼される教職員

- ①高い倫理観をもち、公平・公正に行動できる
- ②保護者・地域の人々と協力して取り組むことができる
- ③教職員全体と協力し、学校全体を意識しながら組織的に取り組むことができる
- ④ワークライフバランスのとれた働き方により、心身の健康を維持できる

6. 本年度重点具体策として

(1) 学校や地域の実態に即したあいわくわくプランの実施

(2) 基礎基本の学力定着

- ①大島タイムの効果的な活用
- ②児童の実態・課題に応じた、楽しく分かる授業づくりの工夫
- ③学習規律の徹底—大島っ子のやくそく
- ④家庭と連動した家庭学習の定着と充実
- ⑤授業改善のための授業研究・校内研修(少人数での話し合い活動)
- ⑥ICT機器の積極的な活用

(2) 生き抜く力の育成

- ①様々な行事を通じて適応力を身につける
- ②考える場面と時間の確保
- ③聞く力の育成(教科・総合・特活など)
- ④清陵中学校進学を想定した自己表現力の育成(教科・その他)
- ⑤相手の気持ちを考え行動できるコミュニケーション力を養う
- ⑥幼小中の連携の強化(特に小小)

(3) 一人ひとりに寄り添う支援体制と生徒指導

- ①校内支援委員会による、共通理解と具体的な支援の検討・実施
- ②生活指導員会による、初期対応を重視した生徒指導
- ③いじめアンケート実施による、早期発見・早期対応と保護者対応
- ④関係機関との連携

(4) 地域連携を生かした特色ある取組の推進

- ①地域資源の共有と活用を図る
- ②小規模ならではの利点を生かし地域と連携した教育活動
- ③コミュニティ・スクールとしてのさらなる発展

(5) 地域に学ぶ人権同和教育の充実

- ①基本的人権を尊重し、誰もが幸せに暮らせる地域の実現
- ②生活科、総合的な学習の時間等と連動した人権同和教育の充実
- ③人権学習会の実施

7. 小規模特認校として

小規模特認校制度により、大島の子どもたちが温かく迎え、スムーズに大島での学校生活になじめるよう配慮する

(1) 特色ある取組のPR

- ①記者発表等のため取材依頼

- ②ホームページ等で発信
- ③地域行事等への参加(大島太鼓など)
- ④人と自然の博物館との連携協定など、大島ならではの取組

(2) 体験入学

- ①学校見学随時受入体制を整える
- ②希望者の状況について共通理解を図る
- ③特別な支援を必要とする場合、支援の状況を確認する
- ④小規模特認校説明会の設定

(3) 多様な価値を受け容れる姿勢

- ①自己肯定感、自己有用感を高める
- ②自尊感情を尊重する
- ③大人も子どもも、違いを違いとして受け容れる

8. コミュニティ・スクールとしての発展

コミュニティスクール5年目となり、学校運営協議会の活動が軌道に乗ってきた。
今年、学校の実態を十分に把握してもらいながら、地域の連携をさらに強化して取り組んでいく。

9. 業務改善、働き方改革、勤務時間の適正化等

- ①校務、会議の時間短縮、効率化
- ②ノー残業デー、定時退勤日の完全実施(毎週金曜日)
- ③第2定時退勤日の設定推奨
- ④記録簿の整理... 毎月末提出
- ⑤あいワクワクプランによる教育課程の編成